

脳神経外科	
診療科目：脳神経外科	
診療科担当研修責任者名： 大石 誠（脳神経外科診療副科長） 診療科連絡先担当者名： 大石 誠（脳神経外科エデュケーショナルマネージャー） 鈴木倫明（総括医長）	
受入期間：1ヶ月以上	同時受け入れ可能数：4人以内
◇◇学会認定専門医数◇◇	
脳神経外科学会専門医13人、脳卒中学会専門医3人、てんかん学会専門医2人、神経内視鏡学会技術認定医8人、日本がん治療認定医4人、脳神経血管内治療学会専門医6人	
◇◇学会認定指導医数◇◇	
脳神経外科学会指導医9人、脳神経血管内治療学会指導医2人	
診療科の概説・特徴	診療科研修の特徴
昭和28年（1953年）に、日本で最初に脳神経学科学専門の講座として開講した教室です。したがって、県内外に救急救命治療や多数の脳外科手術をこなす多くの基幹病院を関連病院として有しており、その中で鍛え上げられた優れた教室員達が日々の診療にあたっております。また、日本脳神経学科黎明期から受け継がれてきた診療および手術技術をもつ一方、脳神経内科とともに脳研究所という基礎・臨床を一体とした研究組織に所属していることも他にない特色です。	対象疾患として、脳腫瘍、脳血管障害、下垂体疾患、新生児・小児神経疾患、機能的疾患などの高難度手術治療を要する症例に加え、日々救急搬送を受ける頭部外傷や脳卒中中の緊急治療にもチームで一丸となって取り組んでいます。研修ではこの臨床チームの一員として治療計画や手術を中心とした治療に携わることとなります。このような経験を通し、神経救急患者に冷静に対応できる実力や、全身管理にまつわる知識、また外科医として必要な技術を身につけることができます。カンファレンスは術前検討会・外来新患症例検討会が週2回（月、水の夕方）、術後報告会が週2回（火、木の朝）、IVR 検討会が週1回（水の朝）行われ、臨床に必要な考え方を学びます。その他、新潟市内の関連病院において機能外科（てんかん外科など）や脊髄外科を見学・研修することも可能です。当科は脳研究所内の神経病理や統合脳機能研究センターなどの神経基礎講座との交流もあり、特に神経研究に興味のある諸君は、研修期間中にさらに一歩進んだ経験の機会を得ることも可能となっています。